

2019年1月1日から2021年6月30日に

脳出血で入院された方へ

— 研究実施のお知らせ —

研究の題名： 当院の脳出血患者の特徴と要注意症例の検討

研究期間： 病院長の許可日～2024年12月31日

研究責任者： 脳神経外科 副部長 森田隆弘

青森県立中央病院脳神経外科では、上記課題名の研究を行います。「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（2017年5月30日施行）に基づき、匿名化された情報（診療録等）の研究利用について、以下に公開いたします。

【研究の目的と意義について】

脳出血は脳神経領域の疾患で最も頻度の高い疾患の一つであり、生活習慣病を基盤として発生することが多いため、疾患の特徴に地域差が存在する可能性があります。また、大部分は内科的な治療で安定しますが、中には緊急手術を必要としたり内科的な治療で出血のコントロールができない要注意症例も存在します。症例検討から要注意症例の特徴を明らかにすることで必要な人に重点的に医療資源を投入することができるようになり患者さんの転帰が改善する可能性があります。

【研究の方法について】

2019/1/1～2021/6/30 に脳神経外科に入院した脳出血患者さんのうち外傷やくも膜下出血に伴うものを除いた内因性脳出血の方を対象とします。診療録より発症前の背景、脳出血に関係する既往、発症から来院までの時間、脳出血の程度（病型、血腫量、脳室内血腫の程度、重症度（症状）、治療法と経過、易出血要因などを抽出して検討します。

なお、この研究に必要な臨床情報は、全てカルテから取り出しますので、改めて患者さんに行っていただくことはありません。

【個人情報の取扱いについて】

収集したデータは、匿名化した上で、統計的処理を行います。国が定めた倫理指針（「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」）に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

【お問い合わせ等について】

この研究へのご協力は、患者さんご自身の自由意思に基づくものです。この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先までご連絡ください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

また、患者さんや代理人の方のご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。希望される方は、以下までご連絡ください。

〈お問い合わせ等の連絡先〉

青森県立中央病院 脳神経外科

副部長 森田隆弘

TEL：017-726-8111